

# 水稲と施設園芸の複合経営

## チンゲン菜のハウス栽培で収入確保

有限会社アグリタウン（宝達志水町）

水稲以外の主な園芸作物等



※ イラストはイメージ

### 園芸作物導入の経緯等

- ◆ 育苗ハウスの活用と冬期間の収入確保を目的に、平成18年から園芸作物栽培を開始。
- ◆ 現在の経営規模は、水稲35ha（うるち米25ha、もち米10ha）、ハウス50棟において、チンゲン菜延べ2.5ha（50a×5回転）のほか、わずかではあるが、ほうれんそうとミニトマトを栽培。
- ◆ 主な労働力は、従業員4名、通年のパート従業員6名。



50棟におよぶハウス群



ハウス内のチンゲン菜

### これまでの課題に対する対応

- ◆ チンゲン菜は寒さに強いので、ハウスで栽培すれば、加温しなくても年間約5回の収穫が可能で、かつ、保冷库を所有しているため、夏期においても品質を良好な状態に保ち、年間を通して高品質な農産物を出荷している。
- ◆ チンゲン菜の栽培には、自家の粳穀や米糠、近隣農家から出る屑大豆等を利用し、自家で製造したぼかし堆肥を使用した土づくりを行っている。

チンゲン菜の箱詰め作業

保冷库により高品質を確保

### 今後の展望等

- ◆ 施設園芸での規模拡大及び収益性の高い他品目の栽培も挑戦していきたい。
- ◆ 実需先の要望に応え、品質の良い作物を供給していく。



丼サイズにピッタリのチンゲン菜もあります

（令和3年11月）